



立て心よ 行け私よ

No. 1

文責:中島 紀子

出会いから2か月。「対話」を通して成長する墨中生に！

生徒 446 名、教職員 49名、総勢495 名 「自律に向け、心を立て行動をおこす」

今年度の墨坂中学校は、4月6日の入学式に新入生 144 名を迎えて出発し、早くも2か月以上が経過しました。学校教育目標『立て心よ 行け私よ』の具現、実現に向けて、令和8年度の重点を＜出会いと対話＞、＜伝統を受け継ぐ気風＞とし、日々の教育活動を通して「問題解決力」「他者関係力」「自己更新力」を育みたいと考えております。子どもたちの健やかな成長のために、保護者の皆様、地域の皆様と手を携えて進んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



4/6 始業式担任発表。新たな出会いの日。

5/27 校長講話より ～ 「訊く」、「対話」の大切さ

サッカー日本代表チーム森保監督は、きく天才と言われ、一人一人との「対話」を大切にしています。何でも言い合えるチームをつくる。一人一人が最大限のパワーを発揮するには、互いの「対話」なくしては成し得ません。今日は、「きく」、「対話」について話します。



頑張れ、日本

「きく」ことについて:「きく」は、3つの漢字によって意味やレベルが違います。

- ・ 聞く … 音や言葉が耳に入ること。先生の話聞く、友だちの声を聞く。普段一番よく使っている「きく」です。
- ・ 聴く … 心を込めて耳を傾ける。相手の気持ちや考えを大切にしながら聴く。音楽を聴く、悩みを聴く等。
- ・ 訊く … 今日、一番大切にしたい「きく」。受け身で聞くのではなく、自分から質問したり相手の考えを知ろうとしたりする。「どうしてそう考えたの?」「もう少し詳しく教えて」等、相手に働きかけて訊くことで、「対話」が生まれる。授業中に隣りの人、グループで話し合う時、「答え何番?」「わかった?」それだけで終わってしまうと、学びは深まりません。でも、「どうしてそう考えたの?」「自分はこう思ったけど、どう?」「その考え、面白いね」と訊き合う＝「対話」することができると、学びは大きく変わります。

「対話」の相手は、必ずしも仲のよい友だちとは限らず、いろいろな考えをもった人と対話することが大切です。社会に出れば、年齢の違う人、価値観の違う人と一緒に考え、協力していきます。だから学校での「対話」は、将来につながる練習でもあるのです。

「訊く」ことで成功した2人の偉人について。1人目はアメリカの実業家、スティーブ・ジョブズさんです。ジョブズさんは、会議で何度も「なぜ?」と問い続けたことで有名です。そうやって深く「訊く」ことで、世界を変える新しい製品を生み出しました。2人目は、大リーグで活躍したイチローさんです。イチローさんは、インタビューで「人に教わる時は、まず素直に訊くことが大切」と話しています。

「訊ける人」は伸びます。わからないことを隠さない。そして、訊かれた時の態度も大切に、相手を笑わないで安心して話せる空気をつくるのです。これからの授業では、ぜひ、「聞く」だけで終わらず、「聴く」ことを大切に、さらに一歩進んで、「訊き合う」ことを意識してください。「対話」は、学力を伸ばします。そして、人と協力しながら生きる力も育てます。今日からぜひ、「訊く」ことを大切にしましょう。

先生方も対話について学んでいます！

今年度、全校研究テーマを「対話」～自己・他者・ものとののかかわりの中にある深い学びの創造～と決めました。校長講話で校長先生のお話をお聞きした日の放課後、研究会を行い、各教科の授業の中で「対話」することの意義や価値について、それぞれの経験をもとに話し合い、訊き合いました。6月24日(水)の放課後には、指導者を招いてさらに「対話」についての理解を深め、今後の授業実践に生かしたいと考えています。学びの充実を目指し、墨坂中の先生方は生徒のいない時間にもがんばります。



5/27 時に楽しく時に真剣に対話する研究会

【墨坂中学校新任職員紹介】 令和8年度の人事異動で、次の職員が着任しました。よろしくお願いします。

職員名	担当	職員名	担当

(*^~^*) 写真で紹介 学校生活の様子

各学年の行事

①



②



③



- ①4/9-11 修学旅行(3年)
クラスの仲間と共に、奈良・京都の歴史と文化に触れました。
- ②5/20,21 職場体験学習(2年)
初めての接客。働く大変さ喜びに触れました。
- ③5/20,21 妙高自然体験(1年)
入学後間もない宿泊学習。新しい仲間との協力の大切さに気づき、今後の学校生活に生かしていきます。

部活動



4月 中庭や昇降口で 吹奏楽部、合唱部のミニライブ



祈 健闘！ 墨中生！

5/29 運動部北信大会壮行会「墨坂、Victory！」

生徒会活動



4/30 生徒総会 今年度の活動計画が承認されました。



6/3 人権教育月間導入集会 自分の意見を続々と生徒が発言。



6/17 生徒会の最大行事「墨坂祭」の「50 日前集会」。いよいよ墨坂祭に向けて、全校でスタートを切りました。

いじめといじりの違いは？

6月3日(水)生徒会人権委員会の運営による、前期人権教育月間導入集会(全校集会)が行われました。事前に、全校生徒にいじめに関するアンケートが実施され、その結果を発表した後、【「いじめ」と「いじり」の違い】をテーマに、生徒同士の意見交換が進められました。

はじめは「いじりは、ノリでできる。いじめは、簡単にはできない」と2つを別のこととらえていた生徒が多い様子でしたが、発言する生徒たちの言葉から、徐々に気づきが生まれていきました。集会の終盤には、「いじめといじり自体に違いはない。どちらも、やられた方が嫌だと思えば、いじめになる」という意見が出され、ハッとした生徒が多かったのではないかと思います。今回の一人一人の人権感覚の高まりが、日々の生活で磨かれていくよう支援していきたいと感じています。

学 習



3 年理科「化学変化と電池」グループ学習の中で、ICT を活用して理解を深める。



テスト前3日間の放課後学習「アドバンスタイム」で集中して課題に向かう様子。次の期末テストは7月2日です。

6/17「プール開き」校長先生、代表生徒が安全なプール学習を祈願。



校長室前で「何だろう？」興味関心は、新たな学習の芽(↓メダカです)

清 掃



伝統の「膝つき4回がけ」を受け継いでいきます！

保護者・地域の皆様との関わり



「共育ちを育む会」の様子

PTA 作業、ありがとうございました！

6月13日(土)には、1学年の保護者の皆様を中心に、土手の草刈り作業、体育館南側道路整備準備、カーテン洗い等、普段手の届かない箇所の作業や校地の整備をしていただき、おかげさまで生徒たちの生活環境が整いました。暑い中、ありがとうございました。施設委員の皆様、運営お疲れさまでした。次回9月12日(土)もお世話になります。

6/2 地域の皆様、保護者の皆様にお越しいただき、学校職員も参加して、地区ごとに「共育ちを育む会」を行いました。直前に聴いた「情報モラル講演会」の内容から、多くのグループでお子さんのスマホ利用やゲームに関する心配ごとが出され、他にも、自転車乗り等の交通安全、育成会活動、学園構想について話題にあげられたグループもありました。また、墨中生のあいさつがよい、と嬉しいお言葉もいただき、改めて地域に支えられる学校であると感じています。今後とも、変わらぬご理解とご支援をお願いします。

⚡ 急な雷、地震、クマの出没等に備えて ⚡

梅雨に入り、天候が不安定で発雷や落雷の起きやすい時期となりました。部活動等で屋外での活動中に天候が急変した場合は、生徒の安全確保を最優先することを職員間で徹底しています。下校前に発雷する場合は、雷レーダー等で情報を収集し、必要な場合は学校に生徒を待機させることもあります。その際は、学校の対応について、tetoru で保護者の皆様に連絡します。

また、市内で複数回目撃されているクマの出没、地震や台風等の自然災害については、生徒が学校にいる時間帯に危険な状況になった場合、保護者の皆様にお迎えをお願いし、生徒の引き渡しを行う場合があります。必要な連絡は、その都度 tetoru で行います。ご承知おきください。